

	施策名	評価項目	参考指標	担当部署	(参考) 平成29年度の主な実績等	平成30年度の主な実績等	令和元年度（12月末まで）の主な実績等
基本 施策	1【継承】 文化芸術資 源の継承	(1)文化財・伝統 芸能等の保存・ 継承の支援・活 用が図られた か。	①小峰城の石垣修復見 学会の実施回数・参加 者数。	文化財課 都市計画 課 まちづく り推進課	○小峰城石垣修復見学会 回数：7回（6月～12月） 参加者数：のべ2,611人 ○小峰城史跡整備事業の内容 清水門から前御門にいたる園路整備、竹之丸の園地整備等を実施した。 ○全国城跡等石垣整備調査研究会 内容：「震災からの学び―東日本大震災における文化財石垣復旧の中間報 告―」と題して研究会を開催し、小峰城跡の文化財石垣復旧の取組みを全国に発 信した。 月日：30年1月18日（木）～20日（土） 参加者数：約250人 ○歴史的まちなみ修景事業の内容 本市中心市街地には、旧奥州街道などを中心として歴史的建造物の商家や蔵な どが多く存在し、旧城下町の景観を残しているため、これら歴史的風致の維持向 上を図るため、建造物等の修景等に対して補助を行った。 ○小南湖公園整備事業の内容 丹羽長重廟及び白河藩大名家墓所（小南湖）の駐車場、園路等の整備を行っ た。 ○歴史的風致形成建造物保存修景事業の内容 旧奥州街道や歴史的街路沿線に面する歴史的な建造物について、歴史的風致形 成建造物に指定し、所有者が行う建造物の修復整備に対して支援を行った。	○小峰城史跡整備事業の内容 桜門、本丸外周、月見櫓周辺の整備等を実施した。 ○南湖公園史跡整備事業の内容 新たに「南湖公園整備指導委員会」立ち上げるとともに、南湖北岸の月見が浦 の園路設計・現地測量を実施した。 ○景観形成事業 対象：白一小6年生 内容：3日間に亘り、日本大学工学部の先生による講義、まち歩き、レポート作 成、発表等の景観学習事業を行った。 ○歴史的まちなみ修景事業の内容 本市中心市街地には、旧奥州街道などを中心として歴史的建造物の商家や蔵な どが多く存在し、旧城下町の景観を残しているため、これら歴史的風致の維持向 上を図るため、建造物等の修景等に対して補助を行った。	○小峰城石垣修復完了宣言 東日本大震災で崩落した石垣の工事が終了した。それに伴い、石垣見学会を実 施し、621人が参加した。 ○小峰城史跡整備事業の内容 園路開放に向け、帯曲輪の測量を実施した。 ○景観形成事業 対象：白一小6年生、釜子小4年生 内容：白一小は3日間、釜子小は2日間の日程で開催した。日本大学工学部の先 生による講義、まち歩き、レポート作成、発表等の景観学習事業を行った。 ○歴史的まちなみ修景事業の内容 本市中心市街地には、旧奥州街道などを中心として歴史的建造物の商家や蔵な どが多く存在し、旧城下町の景観を残しているため、これら歴史的風致の維持向 上を図るため、建造物等の修景等に対して補助を行った。
					②伝統芸能を継承して いる団体への支援内容	文化財課	○無形民俗文化財等支援事業 内容：活動・道具修復の支援 団体数：12団体 ・郷渡町内会（県指定）関辺のさんじもさ踊 ・安珍歌念仏踊保存会（県指定）奥州白河歌念仏踊 ・大和田町内会（県指定）奥州白河歌念仏踊 ・河東田町内会…（市指定）河東田牛頭天王祭 ・八幡宮下熊野講青年会…（市指定）八幡宮下熊野講 他
		(2)地域に残る文 化芸術資源が掘 り起こされた か。	①調査等の今後の方向 性。	文化財課	2-(1)-④における特別企画展「文晁門人 蒲生羅漢」において江戸時代後期 の白河で活動した画人、蒲生羅漢を紹介したことで、個人所蔵作品についての問 い合わせがあり、調査により新たな作品の確認を行うことができた。そのうち1点 の作品（屏風）が市に寄贈されたことは、展示活動が地元の歴史への理解や作品 掘り起こしにつながったといえる。 今後も同様な地域の文化芸術資源の掘り起こしにつながるような調査や展示を 実施していく。	○戊辰戦争関係資料調査の内容 市内における戊辰戦争関係資料の調査を行った。特に、市内に散在する慰霊碑 や供養碑について、これまでに知られていなかったものを含めての基礎調査を行 い、報告書として刊行した。それ以外の歴史資料等については、2-(1)④の特別企 画展に展示するなどの成果が得られた。	○市内の美術・歴史・民俗資料調査 内容：市民から依頼を受け、所蔵する古文書や掛軸、民俗資料などの調査を 行った。 件数：のべ15件 資料点数：約120件 うち80件ほどは、歴史民俗資料館へ寄贈されたため、展示や調査研究などに より、文化資源として活用を図っていきたい。

	施策名	評価項目	参考指標	担当部署	(参考) 平成29年度の主な実績等	平成30年度の主な実績等	令和元年度（12月末まで）の主な実績等
基本 施策	2【共有】 本市特有の 文化芸術の 共有	(1)地域文化を学 ぶ機会が創出さ れたか。	①公民館における歴史 講座の実施回数・参加 者数。	公民館	○歴史関係講座 講座名：文化財教室、わくわく地理教室、歴史探訪教室、高砂学級、レディー スセミナー、東ふるさと教室 回数：計30回 参加者数：計730人	○歴史関係講座 講座名：文化財教室、レディースセミナー、歴史講座、歴史探訪講座、こでら んに塾、高砂学級、東ふるさと教室 回数：計38回 参加者数：計941人	○歴史関係講座 講座名：文化財教室、レディースセミナー、歴史講座、歴史探訪講座、こでら んに塾、東ふるさと教室 回数：計32回 参加者数：計787人
			②戊辰戦争等に関する 情報の発信内容。	文化振興 課 図書館 まちづく り推進課	○戊辰150周年記念事業の内容 平成30年が戊辰戦争後150年の節目の年であるため、白河戊辰150周年記念事業 実行委員会を立ち上げ、下記の事業を展開した。 ・元NHKアナウンサー松平定知氏らによる講演会や歴史ツアー ・コミュニティ・カフェEMANONにおける「カフェで歴史を語る夜」の開催 ・のぼり旗やピンバッジ、パンフレット、記念誌、マンガ本の作成 ・ゆかりのある地域へのキャラバン ・DVDの作成 ・市内循環バスのラッピング ・福島中央テレビでのPR番組の放映 ○市立図書館読書普及事業 内容：郷土の歴史に精通している方（東北大学教授 友田昌弘氏）による郷土 講演会を開催した。 演題：奥羽列藩同盟とは―諸藩が連携するというこ― 入場者数：150人 ○白河歴史教科書作成事業 ・歴史教科書「れきしら」の販売実績 入門編：527冊、上級編：292冊 ・第2回しらかわ検定 月日：30年2月17日（土） 受験者数：3級 124人、2級 101人 ○ぐるり白河文化遺産めぐり事業 内容：歴史・伝統・文化に触れながらまちなかを回遊した。 月日：春 29年4月8日（土）、秋 29年10月14日（土） テーマ：春 歴史的建造物と仏教美術めぐり 秋 鹿島神社と白河の関所 参加者数：春 38人、秋 33人	○戊辰150周年記念事業の内容 戊辰戦争後150年の節目の年であるため、白河戊辰150周年記念事業実行委員会 により、下記の事業を展開した。 ・ゆかりのある地域へのキャラバン ・甞る「仁」のころころ～合同慰霊祭 ・甞る「仁」のころころ～特別講演 ・fukushimaさくらプロジェクト「はるか2018～戊辰の風・花の雲」 ・萩～白河こどもの心ふるさと交流事業 ・白河戊辰ラーメン合戦 ・海援隊トーク&ライブ2019 ・創作楽劇「影向のボレロ」 ・戊辰戦争白河口の戦い紹介映像の制作、放映 ○りぶらんにおける郷土講演会 郷土の歴史に精通している方を招き講演会を実施した。 テーマ：「幕末維新史をみなおす～討幕派史観をこえて～」 講師：家近良樹氏、入場者数：150人 ○白河歴史教科書作成事業 ・歴史教科書「れきしら」の販売実績 入門編：380冊、上級編：356冊 ・第3回しらかわ検定 月日：31年1月26日（土） 受験者数：3級 90人、2級 66人、1級 27人 参加者数：春 46人、秋 73人 ○第37回しらかわ盆踊り大会 しらかわ盆踊りの保存と次世代への継承等のために実施した。 月日：30年8月11日（土）、場所：白河駅前イベント広場 参加者数：5,000人 ○ぐるり白河文化遺産ツアー 月日：春 30年4月14日（土）秋 30年10月13日（土） テーマ：春 「白河大戦争」作者とめぐる白河の戊辰戦争 秋 あなたの知らない狛犬の世界～石工 小松寅吉の作品展～ 参加者数：春 46人、秋 73人	○戊辰150周年記念事業の内容 平成30年が戊辰戦争後150年の節目の年であったため、白河戊辰150周年記念事 業実行委員会により、下記の事業を展開した。 ・萩～白河こどもの心ふるさと交流事業 ○りぶらんにおける郷土講演会 郷土に関わる歴史に精通している方を招き講演会を開催した。 テーマ：「徳川幕府の転封（てんぼう）政策と白河藩」 講師：山本博文氏（東京大学史料編纂所教授） ○第38回しらかわ盆踊り大会 しらかわ盆踊りの保存と次世代への継承等のために実施した。今年度は、「萩 ～白河こどもの心ふるさと交流事業」で来白した萩市の子ども15人、「わくわ く！キッズ☆カルチャースクール」の「萩の子どもたちとめぐる白河歴史ツ アー」を受講した本市の子ども14人も参加し、萩市と本市の友好を深めた。 月日：元年8月11日（日） 場所：白河駅前イベント広場 参加者数：6,000人 ○ぐるり白河文化遺産ツアー 月日：春 31年4月13日（土） テーマ：春 古地図で巡る城下町 参加者数：春 41人 ※秋は台風19号の影響により中止 （参考）月日：秋 元年10月19日（土） テーマ：秋 初代藩主丹羽長重を偲ぶ～小峰城石垣修復の軌跡～ 申込者数：秋 27人
			③市民歌の普及のため の取組み内容。	文化振興 課	○音楽の祭典（詳細は5(1)①）における取組み内容 第1部市民音楽祭：来場者による全体合唱 第2部著名な音楽家によるコンサート：アーティストと市民合唱団の共演による 合唱 第3部震災復興音楽祭：ゲストと市民合唱団の共演による合唱	○音楽の祭典（詳細は5(1)①）における取組み内容 第1部市民音楽祭：来場者による全体合唱 第2部著名な音楽家によるコンサート：アーティストと市民合唱団の共演による 合唱 第3部震災復興音楽祭：ゲストと市民合唱団の共演による合唱	○音楽の祭典（詳細は5(1)①）における取組み内容 第1部市民音楽祭：来場者による全体合唱 第2部著名な音楽家によるコンサートで、アーティストと市 民合唱団の共演による合唱予定。 ※2年3月11日開催の第3部震災復興音楽祭で、ゲストと市民合唱団の共演による 合唱予定。
			④資料館等における企 画展示内容。	文化財課	○白河集古苑における企画 ・特別企画展 テーマ：「文晁門人 蒲生羅漢」 会期：29年9月16日～11月5日、入館者数：2,505人 内容：絵師 蒲生羅漢の作品と業績を紹介した。また、展示解説会や講演会を 行い市民に広めた。 ・企画展 ①テーマ：「美術でつくる動植物園」 会期：29年3月24日～5月7日、入館者数：2,234人 ②テーマ：「桜・さくら」 会期：29年11月17日～30年1月14日、入館者数：702人	○白河集古苑における企画 ・特別企画展「戊辰戦争と白河」 会期：30年8月11日～10月8日、入館者数：4,863人 内容：戊辰戦争の激戦地白河での戦争の展開や、巻き込まれた庶民の動きなど を当時の資料をまじえながら紹介した。 ・企画展 ①「桜・さくら」 会期：30年3月16日～5月6日、入館者数：1,968人 ②「幕末・明治の阿部家3代」 会期：30年5月18日～7月29日、入館者数：2,250人 ③「はじめての古美術」 会期：30年10月20日～12月16日、入館者数：1,222人	○小峰城歴史館における企画 ・特別企画展 テーマ：「白河藩主 七家二十一代」 会期：元年8月10日～10月14日、入館者数：7,122人 内容：寛永4年（1627）の白河藩の成立から慶応2年（1866）までの239年間に白 河を治めた歴代藩主7家21代にまつわる歴史資料や美術品を初めて一堂に会し、白 河での藩主の業績や武家の文化を紹介した。
			⑤食文化の伝承事業の 今後の方向性。	文化振興 課	該当事業なし。	該当事業なし。	該当事業なし。
		(2)学校等におけ る郷土学習の充 実が図られた か。	学校教育 課	①学校における史跡や 文化財に関する学習機 会の内容。	○史跡や文化財に関する学習 ・小峰城：小学校15校、教員研修2回 ・集古苑：小学校15校、教員研修2回 ・中山義秀記念文学館：小学校15校、教員研修2回 ・鈴木家住居：小学校12校 ・ふるさと文化伝承館：小学校3校、教員研修2回 ○白河の歴史文化再発見事業の内容 小学生は、地域に伝わる昔話を聞き、地域の歴史を学び、茶道を体験した。中 学生は、白河から出土した土器に実際に触れ、松平定信の業績について専門家の 説明を聞いた。 特に小学6年生は、小峰城の石垣崩落現場や運び出された石垣、南湖公園や白河 の関などの史跡を見学し、専門家の説明を聞き、その学習で得たことを全児童が 歴史新聞などにまとめ、市立図書館に掲示し市民に周知した。	○史跡や文化財に関する学習 ・小峰城：小学校15校、教員研修2回 ・集古苑：小学校15校、教員研修2回 ・中山義秀記念文学館：小学校15校、教員研修2回 ・鈴木家住居：小学校12校 ・ふるさと文化伝承館：小学校3校、教員研修2回 ○白河の歴史文化再発見事業の内容 小学校15校の成果を4回に分けてりぶらんロビーに掲示した。「小学6年生学 びの集い」をりぶらんで開催し、各地域の歴史や文化などについて互いに紹介し 合った。 小学1年生は昔遊び体験、2年生は読み聞かせ体験、3年生は表郷の「鈴木家 住居」訪問、4年生は昔の暮らしや開拓などの調査とりまとめ、5年生は茶道体験、6 年生は小峰城を中心とした歴史探検や中山義秀記念文学館訪問を行った。 中学生は、白河の古代・松平定信の業績、白河の戊辰について学んだ。	○史跡や文化財に関する学習 ・小峰城：小学校15校、教員研修1回 ・小峰城歴史館：小学校15校、中学校2校、教員研修1回 ・中山義秀記念文学館：小学校15校、教員研修1回 ・鈴木家住居：小学校12校 ・ふるさと文化伝承館：小学校3校、教員研修1回 ○白河の歴史文化再発見事業の内容 小学校15校の成果を4回に分けてりぶらんロビーに掲示した。 小学1年生は昔遊び体験、2年生は読み聞かせ体験、3年生は表郷の「鈴木家 住居」訪問、4年生は昔の暮らしや開拓などの学習、5年生は茶道体験、6年生は小峰 城・小峰城歴史館を中心とした歴史探検や中山義秀記念文学館訪問を行った。 中学生は、白河の古代・松平定信の業績、白河の戊辰について学んだ。また、 中学3年生で小峰城歴史館見学を実施した。
				②資料館等を見学した 学校数。	文化財課	○資料館・集古苑の見学 学校数：小中学校 計15校	○資料館・集古苑の見学 学校数：小中学校 計15校

	施策名	評価項目	参考指標	担当部署	(参考) 平成29年度の主な実績等	平成30年度の主な実績等	令和元年度（12月末まで）の主な実績等
基本 施策	3【整備】 文化芸術環境の整備	(1)文化施設の環境が整備され、連携推進が図られたか。	①コミネス・図書館・マイタウンの連携内容。	コミネス	○コミネスと図書館の連携回数 アウトリーチコンサート：2回 ワークショップ事業：1回	○コミネスと図書館の連携内容 「伝統芸能の系譜を辿る」事業（雅楽と能楽の公演）において出演者の松山隆雄氏のレクチャー&ワークショップをりぶらんで2回開催した。	○コミネスと図書館の連携内容 「白河まちなか国際音楽ウィーク2019～イタリアボローニャのお話とともに～」をりぶらんで開催し、クラリネットとピアノの演奏を行った。
			②図書館等における企画展示内容。	図書館	○りぶらんと中山義秀記念文学館との連携 内容：りぶらんに特設コーナーを設け中山義秀関連資料を展示した。	○りぶらんの常設の展示コーナー（一般向け、児童向け等） 定期的にテーマを設定し、関連資料を展示した。	○りぶらんの常設の展示コーナー（一般向け、児童向け等） 定期的にテーマを設定し、関連資料を展示した。
			③コミネス・東文化センター・公民館・マイタウンの施設整備内容。	文化振興課	○東文化センターの整備内容 ホール天井落下防止対策工事	該当事業なし。	該当事業なし。
		(2)創造・創作環境が整備されたか。	①アートセンターの構想の今後の方向性。	文化振興課	検討に至っていない。	検討に至っていない。	検討に至っていない。
	②蔵や空き店舗の利活用の今後の方向性。		文化振興課 まちづくり推進課	検討に至っていない。	○旧脇本陣柳屋旅館建造物蔵座敷 ・一般公開、貸館を開始するとともに、貸館利用者アンケートを実施した。	○旧脇本陣柳屋旅館建造物蔵座敷 貸館時間の延長を検討し、条例改正を行った（2年度より午前8時～午後8時に延長※条件あり）。	
	4【発信】 文化芸術情報の収集及び発信	(1)文化芸術情報が発信されたか。	①広報紙・コミネス通信の活用内容。	文化振興課	○情報の発信 媒体：市やコミネスの広報紙、ホームページ 内容：イベント情報等の掲載	○情報の発信 媒体：市やコミネスの広報紙、ホームページ 内容：イベント情報等の掲載	○情報の発信 媒体：市やコミネスの広報紙、ホームページ 内容：イベント情報等の掲載
			②観光等他分野との連携による情報の発信内容。	文化振興課 観光課	○観光物産PR事業の内容 県外でのPRイベントのほか、市主催のイベントや行事において白河だるま、小峰城、白河の関、南湖等をPRした。 ○イメージUP観光誘客事業の内容 首都圏を中心とした県外在住者や市内循環バスの1日利用券購入者を対象に、白河ラーメンをPRした。	○「福が満開、福のしま。」ふくしま観光キャンペーン推進事業の内容 しらかわ周遊スタンプラリーでは、観光ガイドブックとして活用できるパスポート冊子を作成し、白河だるま、小峰城、白河の関、南湖等をPRした。 しらかわエリア観光物産フェアでは、栃木県や茨城県で本市の特産品や史跡等をPRした。 ○小峰城PRの内容 お城EXPO2018（横浜市）、三城巡り（会津若松市、二本松市）でのPR ○サイクルツーリズム推進事業（国内向けプロモーション事業）の内容 主に首都圏で開催される自転車展示会等において本市の特産品や史跡等をPRした。	○「福が満開、福のしま。」ふくしま観光キャンペーン推進事業の内容 プロモーション動画制作を作成し、小峰城、白河の関を中心にSNSなどを使い、本市の史跡名勝などをPRした。 しらかわエリア観光物産フェアでは、栃木県や茨城県で本市の特産品や史跡等をPRした。 ○小峰城PRの内容 山城サミット（可児市）、お城EXPO2019（横浜市）、三城巡り（会津若松市、二本松市）でのPR ○サイクルツーリズム推進事業（国内向けプロモーション事業）の内容 主に首都圏で開催される自転車展示会等において本市の特産品や史跡等をPRした。

平成30年度及び令和元年度（12月末まで）の主な実績等

	施策名	評価項目	参考指標	担当部署	(参考) 平成29年度の主な実績等	平成30年度の主な実績等	令和元年度（12月末まで）の主な実績等		
基本 施策	5【活動への支援】 文化芸術活動への支援	(1)文化芸術団体と連携した市民参加型事業の充実が図られたか。	①音楽の祭典・美術展覧会・市民芸術大会の内容。	文化振興課 事業課	○第21回しらかわ音楽の祭典 ・第1部市民音楽祭 月日：29年11月4日(土)、場所：コミネス 参加者数：出演団体28団体968人、観客約2,000人 ・第2部著名な音楽家によるコンサート「森麻季ソプラノリサイタル」 月日：29年9月23日(祝)、場所：コミネス、入場者数：約900人 ・第3部震災復興音楽祭「山形由美ステージ」 月日：30年3月11日(日)、場所：コミネス 参加者数：出演団体37団体491人、観客約2,350人 ○第63回白河市総合美術展覧会 月日：29年10月18日(水)～22日(日)、場所：マイタウン白河 参加者数：出品者218人309点、観覧者のべ1,282人 ○第10回白河市民芸術大会 月日：29年7月9日(日)、場所：コミネス 参加者数：出演団体28団体、演目57演目、観覧者約550人 ○第7回囲碁・将棋まつり 月日：29年9月10日(日)、場所：新白信ビル 参加者数：プロ棋士6人、一般300人 ○ふるさと白河表郷まつり 内容：イベントの中で和太鼓や琴の演奏、踊りを発表した。 月日：29年11月5日(日)、場所：表郷総合運動公園内 来場者数：約1,500人 ○ふるさと川まつりinたいしん 内容：イベントの中で和太鼓の演奏、踊りを発表した。 月日：29年8月26日(土)、場所：大信総合運動公園駐車場特設会場 来場者数：約1,000人 ○サンライズひがしフェスティバル 内容：イベントの中で小中学校による吹奏楽や鼓笛の演奏、和太鼓や琴の演奏、踊りを発表した。 月日：29年11月3日(祝)、場所：東風の台公園体育館前駐車場 来場者数：約15,000人	○第22回しらかわ音楽の祭典 ・第1部市民音楽祭 月日：30年11月3日(祝)、場所：コミネス 参加者数：出演団体26団体850人、観客約1,800人 ・第2部著名な音楽家によるコンサート「モルゴア・クアルテットコンサート」 月日：30年11月25日(日)、場所：コミネス、入場者数：約750人 ・第3部震災復興音楽祭 月日：31年3月11日(月)、場所：コミネス 参加者数：出演団体36団体400人、観客約1,200人 ○第64回白河市総合美術展覧会 月日：30年10月17日(水)～21日(日)、場所：マイタウン白河 参加者数：出品者192人192点、観覧者のべ1,213人 ○第11回白河市民芸術大会 月日：30年7月7日(土)、場所：コミネス 参加者数：出演団体22団体、演目36演目、観覧者約500人 ○第8回囲碁・将棋まつり 月日：30年9月9日(日)、場所：新白信ビル 参加者数：プロ棋士6人、一般350人 ○ふるさと白河表郷まつり 内容：地区の文化団体が和太鼓やベリーダンス、花架拳などを披露した。 月日：30年11月4日(日)、場所：表郷総合運動公園内 来場者数：約1,500人 ○ふるさと川まつりinたいしん 内容：イベントの中で和太鼓の演奏、踊りを発表した。 月日：30年8月26日(日)、場所：大信公民館前駐車場特設会場 来場者数：約1,000人 ○サンライズひがしフェスティバル 内容：イベントの中で小中学校による吹奏楽や鼓笛の演奏、和太鼓や琴の演奏、踊りを発表した。 月日：30年11月3日(祝)、場所：東風の台公園体育館前駐車場 来場者数：約5,500人	○第23回しらかわ音楽の祭典 ・第1部市民音楽祭 月日：元年11月2日(土)、場所：コミネス 参加者数：出演団体32団体1,000人、観客約1,800人 ○第65回白河市総合美術展覧会 月日：元年10月16日(水)～20日(日)、場所：マイタウン白河 参加者数：出品者162人162点、観覧者のべ1,053人 ○第12回白河市民芸術大会 月日：元年7月13日(土)、場所：コミネス 参加者数：出演団体28団体、演目48演目、観覧者約600人 ○ふるさと白河表郷まつり 内容：表郷中学校吹奏楽部による演奏や地区の文化団体が阿波踊り、ギター演奏などを披露した。 月日：元年11月4日(月)、場所：表郷総合運動公園内 来場者数：約2,000人 ○ふるさと川まつりinたいしん 内容：イベントの中で和太鼓の演奏、踊りを発表した。 月日：元年8月24日(土)、場所：大信公民館前駐車場特設会場 来場者数：約1,500人 ○サンライズひがしフェスティバル 内容：イベントの中で小中学校による吹奏楽や旭高校による書道パフォーマンス、鼓笛の演奏、和太鼓や琴の演奏、踊りを発表した。 月日：元年11月3日(祝)、場所：東風の台公園体育館前駐車場 来場者数：約6,000人		
					②公民館やマイタウンにおける文化祭・発表会の内容。	各公民館 まちづくり 推進課	○公民館文化祭・発表会 第35回中央公民館習作展 821人 第30回中央公民館発表会 3,000人 第19回表郷芸術まつり 300人 第61回表郷文化祭 800人 第41回大信地域文化祭 2,000人 第47回東総合文化祭(芸能) 344人 第47回東総合文化祭(展示) 1,216人 ○マイタウン白河文化祭 内容：マイタウン白河利用者協会による新規事業。かな書作展や美術協会展、ハンドメイドマルシェ、カルチャー教室等を開催した。 月日：29年11月11日(土)、12日(日) 会場：マイタウン白河 来場者数：1,207人	○公民館文化祭・発表会 第36回中央公民館習作展 900人 第31回中央公民館発表会 1,100人 第20回表郷芸術まつり 300人 第62回表郷文化祭 950人 第42回大信地域文化祭 2,000人 第48回東総合文化祭(芸能) 410人 第48回東総合文化祭(展示) 1,216人 ○マイタウン白河文化祭 内容：ワークショップやフリーマーケットを開催。しらかわ介護福祉専門学校文化祭との同時開催であり、多くの来場者で賑わった。 月日：30年11月10日(土) 会場：マイタウン白河 来場者数：707人	○公民館文化祭・発表会 第37回中央公民館習作展 1,000人 第32回中央公民館発表会 1,000人 第21回表郷芸術まつり 300人 第63回表郷文化祭 950人 第43回大信地域文化祭 2,000人 第49回東総合文化祭(芸能) 248人 第49回東総合文化祭(展示) 928人 ※マイタウン白河文化祭は、名称・内容を変更したため該当なし。
					①音楽の祭典・美術展覧会・市民芸術大会の内容。	文化振興課	(5(1)①と同じ。)	(5(1)①と同じ。)	(5(1)①と同じ。)
(2)文化芸術活動に対する多様な活動が支援されたか。	②活動分野が異なる団体間の交流機会の内容。	文化振興課	○文化団体連絡協議会への働きかけ 加盟団体に対して、会議で加盟団体や文化祭行事の一覧を配布することにより交流機会創出を促した。	○文化団体連絡協議会への働きかけ 加盟団体に対して、会議で加盟団体や文化祭行事の一覧を配布することにより交流機会創出を促した。	○文化団体連絡協議会への働きかけ 加盟団体に対して、会議で加盟団体や文化祭行事の一覧を配布することにより交流機会創出を促した。				
	③補助金制度の紹介内容及び相談件数。	文化振興課	○文化振興補助事業の紹介 内容：広報紙への掲載、文化団体が参集する会議での紹介、窓口での相談対応を行った。 相談件数：10件(助成件数も同じ。)	○文化振興補助事業の紹介 内容：広報紙への掲載、文化団体が参集する会議での紹介、窓口での相談対応を行った。 相談件数：11件(助成件数も同じ。)	○文化振興補助事業の紹介 内容：広報紙への掲載、文化団体が参集する会議での紹介、窓口での相談対応を行った。 相談件数：12件(助成件数も同じ。)				
	④団体主催事業の後援件数。	文化振興課	○市の後援承認 件数：18件	○市の後援承認 件数：24件	○市の後援承認 件数：21件				
	⑤専門人材の養成講座の実施内容。	コミネス	○コミネス人材育成事業 内容：舞台芸術に関心のある市民層の開拓とコミネス主催事業に主体的に関わる人材の育成を目的に、国内外で活躍する舞台関係者やアートマネジメント人材を講師に迎え、講演会と実技講習形式の講座を実施した。 講座回数：計13回	○コミネス人材育成事業 内容：舞台芸術に関心のある市民層とコミネス主催事業に主体的に関わる人材の育成を目的に、国内で活躍する演出家・舞台関係者・ホールアドバイザー等の人材を講師に迎え、講演会と実技講習形式の講座を実施した。 制作者養成講座：5回 舞台技術者養成講座：9回 計14回	○コミネス人材育成事業 内容：舞台芸術に関心のある市民層とコミネス主催事業に主体的に関わる人材の育成を目的に、国内で活躍する演出家・舞台関係者・ホールアドバイザー等の人材を講師に迎え、講演会と実技講習形式の講座を実施した。 制作者養成講座：5回 舞台技術者養成講座：14回 計19回				
⑥アウトリーチの実施内容。	コミネス	○コミネス事業におけるアウトリーチの内容 ・公共ホール音楽活性化事業：財団法人地域創造の助成を受け、市内の学校や施設へ演奏家を2日間で4回派遣した。 ・早稲田大学文化交流事業：同大学のグリークラブを市内の施設へ1回派遣した。 ・図書館連携事業：アウトリーチコンサートをりぶらんで2回実施した。	○コミネス事業におけるアウトリーチの内容 ・「FUKUSHIMA TAP PROJECT～白河～」：タップダンサー中山貴路氏によるワークショップ・アウトリーチを実施した。 開催回数：2回、参加者：16名 ・早稲田大学文化交流事業：同大学の混声合唱団及び津軽三味線愛好会三津巴を市内の施設へ1回派遣した。 ・「伝統芸能の承譜を辿る」事業(雅楽と能楽の公演)：出演者の松山隆雄氏のレクチャー＆ワークショップをりぶらんで2回開催した。	○コミネス事業におけるアウトリーチの内容 ・アジアオーケストラウィーク事業：アウトリーチコンサートを白一小で1回実施した。 ・地域創造助成事業「ダン活」：ダンスアーティストの田畑真希氏、中村理氏を東北中、白四小、大信幼稚園に派遣した。 ・早稲田大学文化交流事業：同大学の混声合唱団及び津軽三味線愛好会三津巴を市内の施設へ1回派遣した。 ・図書館連携事業：「白河まちなか国際音楽ウィーク2019～イタリアパローニャのお話とともに～」をりぶらんで開催し、クラリネットとピアノの演奏を行った。 ・「日露交歓コンサート」：モスクワ音楽院等の演奏家によるアウトリーチを市役所ロビーで1回開催した。					

施策名	評価項目	参考指標	担当部署	(参考) 平成29年度の主な実績等	平成30年度の主な実績等	令和元年度（12月末まで）の主な実績等
基本 施策 6【育成】 文化芸術活動の担い手の育成及び確保	(1)文化芸術の担い手・後継者等が育成されたか。	①若手芸術家等への活動機会の提供内容。	コミネス	○コミネス事業における支援の内容 ・地元白河市出身の若手女流書道家に対する催事出演の機会の提供。 ・福島県出身のタップダンサーの催事出演の機会の提供。 ・二期会所属の若手オペラ歌手達の出演機会の提供。 ・市内の表現活動団体に対する上演活動支援。 ・世界的舞踏家と地元バレエ団の共演機会の提供。	○コミネス事業における支援の内容 ・地元白河市出身の若手女流書道家に対する催事の機会の提供。 ・福島県出身のタップダンサーの催事出演の機会の提供。 ・福島県出身の若手声楽家の出演機会の提供。 ・二期会所属の若手オペラ歌手達の出演機会の提供。 ・市内の表現活動団体に対する上演活動支援。 ・世界的舞踏家と地元バレエ団の共演機会の提供。	○コミネス事業における支援の内容 ・福島県出身のタップダンサーの催事出演の機会の提供。 ・福島県出身の若手声楽家の出演機会の提供。 ・市内の表現活動団体に対する上演活動支援。 ・世界的舞踏家と地元バレエ団の共演機会の提供。
		②文化施設スタッフへの研修の実施回数・参加者数。	コミネス	○コミネス事業における研修 技術系職員対象研修：6回 事業系職員対象研修：1回 参加者数：のべ12人	○コミネス事業における研修 技術系職員対象研修：5回 5人参加 事業系職員対象研修：7回 9人参加 参加者数：のべ14人	○コミネス事業における研修 技術系職員対象研修：2回 2人参加 事業系職員対象研修：10回 10人参加 参加者数：のべ12人
		③各種事業や施設ボランティアの人数。	文化振興課 コミネス	○市事業におけるボランティア 人数：音楽の祭典第3部における高校生11人 ○コミネス事業におけるボランティア 組織：文化ボランティアである市民クラブ（現「コミネス♪カルチャー・クラブ」） 内容：手作りの文化事業を実施するため5回の懇談会を経て、公演事業を1回、WS事業を1回実施した。 登録人数：25人 参加者数：のべ90人	○市事業におけるボランティア 人数：音楽の祭典第1部・第3部における高校生 のべ60人 ○コミネス事業におけるボランティア 組織：コミネス♪カルチャー・クラブ 内容：公演事業1回、運営会議9回、ホールボランティア養成講座1回 登録者数：35人	○市事業におけるボランティア 人数：音楽の祭典第1部における高校生40人 ○コミネス事業におけるボランティア 組織：コミネス♪カルチャー・クラブ 内容：運営会議9回 ※2年2月16日（日）にコンサートを開催予定。 登録者数：21人
		④アートマネージャーやアートファシリテーター等の養成の今後の方向性。	文化振興課	○コミネス事業における人材育成事業 講座回数：12回 参加者数：のべ314人	○コミネス事業における人材育成事業 制作者養成講座：5回 舞台技術者養成講座：9回 計14回	○コミネス事業における人材育成事業 制作者養成講座：5回 舞台技術者養成講座：14回 計19回
		⑤専門家を交えたプロデュース事業や創造型事業の実施内容。	コミネス	○コミネス事業における専門家との連携 ・白河スーパー新能において、鹿島神社氏子壮者会に協力いただき、伝統ある白河提灯祭りを再現した。 ・スペースオペラKEGONにおいて、音楽で作曲家の松下功氏、室内楽アンサンブル東風、ダンサーの森山開次氏らに協力いただいた。子役はオーディションを行い、バレエスタジオPLANÉ主宰の鈴木寿雄氏に指導いただくなど、市民協働の舞台となった。	○コミネス事業における専門家との連携 ・楽劇「影向のボレロ」において、音楽で作曲家の松下功氏、川島素晴氏、和太鼓の林英哲氏らに協力いただいた。地元のしらかわ演劇塾、手づくり甲冑塾、白河青年会議所、白河民舞愛好会、コミネス混声合唱団、バレエスタジオPLANÉ、飯沢太鼓保存会、白河中央祭りばやし保存会、公募による市民らも出演した。 出演者数：142人、入場者数：765人	○コミネス事業における専門家との連携 ・白河ジャパネスク能／オペラ「SO-MON」において、コミネス混声合唱団及び公募の少年少女に、音楽監督である谷本喜基氏から音楽の指導をいただき、さらに、少年少女については、多面体表現者である中村明日香氏から舞の指導もいただいた。 出演者数：100人、入場者数：1,222人
		⑥共同制作事業の実施の今後の方向性。	コミネス	該当事業なし。	○「白河市民第九演奏会」の内容 文京区民オーケストラと市民の共同で演奏会を開催した。 出演者数：257人（合唱157人、文京区民オケ80人、オケ公募14人、指揮1人、副指揮1人、ソリスト4人） 鑑賞者数：約900人	該当事業なし。 ※2年2月9日（日）に、東京芸術劇場、金沢歌劇座との共同制作オペラ「ラ・トラヴィアータ」を開催予定。
	(2)芸術家等の情報が登録され、連携が図られたか。	①本市ゆかりの芸術家等への活動機会の提供内容。	コミネス	○本市ゆかりの芸術家への支援の内容 ・コミネスから民間団体へ、本市出身の若手女流書道家 根本みき氏、郡山市出身のタップダンサー 中山貴踏氏を紹介した。	○本市ゆかりの芸術家への支援の内容 ・コミネス事業への参加協力者 若手女流書道家 根本みき氏 ピアノ演奏家 堀内由起子氏 声楽家 国分晴香氏 作曲家 伊藤巧真氏	○本市ゆかりの芸術家への支援の内容 ・コミネス事業への参加協力者 作曲家 伊藤巧真氏 ピアノ演奏家 堀内由起子氏 声楽家 国分晴香氏 ヴァイオリン演奏家 田口厚子氏 ヴァイオリン演奏家 大竹うらら氏 マリンバ演奏家 平子ひさえ氏 マイム俳優 さとうゆみ

施策名	評価項目	参考指標	担当部署	(参考) 平成29年度の主な実績等	平成30年度の主な実績等	令和元年度（12月末まで）の主な実績等
基本施策 7【子どもへの支援】 子どもの文化芸術活動の充実	(1)優れた文化芸術の鑑賞機会が拡充されたか。	①アウトリーチの実施内容。	コミネス文化振興課	○コミネス事業におけるアウトリーチの内容（5(2)⑥と同じ。） ○文化芸術による子供の育成事業の内容 主催：文化庁 内容： ・巡回公演事業 小中学校における一流の芸術家文化芸術団体による公演。 ・芸術家の派遣事業 小中学校における芸術家による講話、実技披露、実技指導等。 実施場所：小中学校 実施校数： ・巡回公演事業 小学校3校（演劇、奇術） ・芸術家の派遣事業 中学校1校（音楽）	○コミネス事業におけるアウトリーチの内容（5(2)⑥と同じ。） ○文化芸術による子供の育成事業の内容 主催：文化庁 内容： ・巡回公演事業 小中学校における一流の芸術家文化芸術団体による公演。 ・芸術家の派遣事業 小中学校における芸術家による講話、実技披露、実技指導等。 実施場所：小中学校 実施校数： ・巡回公演事業 中学校1校（音楽） ・芸術家の派遣事業 中学校1校（音楽）	○コミネス事業におけるアウトリーチの内容（5(2)⑥と同じ。） ○文化芸術による子供の育成事業の内容 主催：文化庁 内容： ・巡回公演事業 小中学校における一流の芸術家文化芸術団体による公演。 ・芸術家の派遣事業 小中学校における芸術家による講話、実技披露、実技指導等。 実施場所：小中学校 実施校数： ・巡回公演事業 中学校1校（狂言） ・芸術家の派遣事業 小学校2校（音楽）
		②マタニティコンサートの実施の今後の方向性。	コミネス	該当事業なし。	該当事業なし。	該当事業なし。
		③親子で鑑賞できるプログラムの実施回数。	コミネス	○コミネス事業におけるプログラムの内容 ：仙台フィルの親子で楽しむクラシックコンサートプログラム ・劇団四季ファミリーミュージカル ・絵本作家による読み聞かせのワークショップ	○コミネス事業におけるプログラムの内容 ・劇団四季ファミリーミュージカル「王様の耳はロバの耳」	○コミネス事業におけるプログラムの内容 ・劇団四季ファミリーミュージカル「はだかの王様」 ・東京バレエ団「ドン・キホーテの夢」
		④キッズシアター・舞台芸術鑑賞授業の内容。	生涯学習スポーツ課 コミネス	○キッズシアター（演劇教室） 月日：29年6月29日（木）30日（金） 場所：コミネス 参加者数：市内小学3～6年生 2,313人 ○舞台芸術鑑賞授業 月日：29年7月10日（月） 場所：コミネス 参加者数：市内中学2年生 680人 内容：白河初のオペラ公演であった「魔笛」の主役を務めた二期会の歌手をはじめとするオペラ歌手達を招聘し、ピアノ伴奏による生歌の演奏と、当時の映像を用いた「魔笛」のダイジェスト公演を行った。 ○「スペースオペラKEGON」 公開リハーサルにあたり、市内小中学生を対象に観覧募集を行った。	○キッズシアター（演劇教室） 月日：30年6月28日（木）、29日（金） 場所：コミネス 参加者数：市内小学3～6年生 2,253人 ○舞台芸術鑑賞授業 月日：30年7月9日（月） 場所：コミネス 参加者数：市内中学2年生 629人 内容：世界で活躍するフラメンコダンサーの河野睦氏ほかアーティスト3名を招聘し、「歌・踊り・音楽三位一体の芸術」と題し、舞台芸術「フラメンコ」公演を行った。 ○ニッセイ名作シリーズ「アラジンと魔法のランプ」 参加者数：市内小学1、2年生招待 1,074人 ○楽劇「影向のボレロ」 公開リハーサルにあたり、市内小中高生を対象に観覧募集を行った。	○キッズシアター（演劇教室） 月日：元年6月27日（木）、28日（金） 場所：コミネス 参加者数：市内小学3～6年生 2,062人 ○舞台芸術鑑賞授業 月日：元年7月8日（月） 場所：コミネス 参加者数：市内中学2年生 593人 内容：白河ジャパネスク能／オペラ「SO-MON」のダイジェスト版公演を行った。 ○「アジア・オーケストラウィーク2019」 公開リハーサルにあたり、市内小中高生や一般市民を対象に観覧募集を行った。
	(2)子どもの文化創造体験の充実が図られたか。	①アウトリーチの実施内容。	コミネス	○コミネス事業におけるアウトリーチの内容 5(2)⑥のとおり、公共ホール音楽活性化事業で、市内の学校や施設へピアノデュオ「デュエットゥ」を、2日間で4回派遣。ある会場ではおもちゃのピアノを使ってピアノの音の出る仕組みを解説し、演奏も実施。他会場では4手連弾を行なう等各施設毎にプログラムを変えて、音楽の可能性を広げる活動を展開した。	○コミネス事業におけるアウトリーチの内容（5(2)⑥と同じ。）	○コミネス事業におけるアウトリーチの内容（5(2)⑥と同じ。）
	②親子で体験できるプログラムの実施内容。	コミネス	○コミネス事業における親子向け企画の内容 ・仙台フィルの奏者による弦・管・打楽器の演奏体験コーナー（楽器博物館）、指揮者田中祐子に代わって指揮を体験する指揮者体験コーナーの実施 ・絵本作家による絵本の主人公に変身するための三度笠・刀を自由に作るワークショップを実施した。	該当事業なし。	○コミネス事業におけるプログラムの内容 ・ダンボール迷路「コミネスで遊ぼう！」：小ホールを子どもの遊び場として開放。劇場に「遊び場」として気軽に楽しく過ごす空間を造った。 参加者 大人339人 子供168人 未就学児260人	
	③文化芸術団体による学校文化部等への支援の内容。	文化振興課	該当事業なし。	該当事業なし。	該当事業なし。	
	④参加型キッズイベントの内容。	文化振興課	○第6回わーくわく！キッズ☆カルチャースクール 月日：29年7月～8月（夏休み期間中の土日） 場所：りぶらん、中央公民館等 教室数：16教室（絵画、コーラス、大正琴、和太鼓、連句、踊り、いけばな、将棋、囲碁、民謡等） 参加者数：受講者188人、文化団体指導者47人 ○第7回囲碁・将棋まつり（5(1)①と同じ。）	○第7回わーくわく！キッズ☆カルチャースクール 月日：30年7月～8月（夏休み期間中の土日） 場所：マイタウン白河、中央公民館、コミネス等 教室数：15教室（絵画、コーラス、大正琴、和太鼓、連句、踊り、いけばな、将棋、囲碁、民謡等） 参加者数：受講者182人、文化団体指導者44人 ○第8回囲碁・将棋まつり（5(1)①と同じ。）	○第8回わーくわく！キッズ☆カルチャースクール 月日：元年7月～8月（夏休み期間中の土日） 場所：マイタウン白河、中央公民館、コミネス等 教室数：13教室（絵画、コーラス、大正琴、和太鼓、俳句、踊り、いけばな、将棋、民謡等） 参加者数：受講者163人、文化団体指導者55人	
	⑤中山義秀記念作文コンクールへの応募者数。	中山義秀記念文学館	○第7回中山義秀記念作文コンクール 応募数：総数4,694点（市内全小中学校23校在籍5,083人）92% ・小学生の部3,204点（在籍3,212人）100% ・中学生の部1,490点（在籍1,871人）80% 受賞数： ・最優秀賞 小学低中中学年各1点、中学生1点 ・優秀賞 小学生低中中学年各3点、中学生6点 ・最優秀学校賞 小学校・中学校 各1校 ・佳作 小学低中中学年各6点、中学生12点	○第8回中山義秀記念作文コンクール 応募数：総数4,763点（市内全小中学校23校在籍4,966人）96% ・小学生の部3,157点（在籍3,194人）99% ・中学生の部1,606点（在籍1,772人）91% 受賞数： ・最優秀賞 小学低中中学年各1点、中学生1点 ・優秀賞 小学生低中中学年各3点、中学生6点 ・最優秀学校賞 小学校・中学校 各1校 ・佳作 小学低中中学年各6点、中学生12点	○第9回中山義秀記念作文コンクール ※2年1月14日応募締切、1月17日審査会、2月12日表彰式開催予定。	

	施策名	評価項目	参考指標	担当部署	(参考) 平成29年度の主な実績等	平成30年度の主な実績等	令和元年度（12月末まで）の主な実績等
	8【創出】 文化芸術創造の機会の創出	(1) 全国へ発信できる新たな文化芸術プログラムが構築されたか。	① 専門家を交えたプロデュース事業や創造型事業の実施内容。	コミネス文化振興課	○コミネス事業における専門家との連携 ・小峰城址城山公園に特設の野外能舞台を設置し、現代音楽の演奏・特殊照明によるライティングショー・新能を披露する「白河スーパー新能」を開催。 ・地元バレエ団の全面的な協力のもと、世界的舞踏家の森山開次を主役に据え、地元バレエ団の方々と舞台で共演したコンテンポラリーダンス公演「スペースオペラKEGON」を実施。 ○第11回宗祇白河紀行連句賞 内容：宗祇の句及び本市の健康資源や伝統文化等を題材とした連句（三つ物）の募集を通じ、歌枕「白河」を全国にPRした。 応募者数：一般130人239句、高校生326人333句、中学生以下884人886句、計1,340人1,458句	○コミネス事業における専門家との連携（6(1)⑤と同じ。） ○第12回宗祇白河紀行連句賞 内容：宗祇の句及び本市の健康資源や伝統文化等を題材とした連句（三つ物）の募集を通じ、歌枕「白河」を全国にPRした。 応募者数：一般145人303句、高校生209人229句、中学生以下844人848句、計1,198人1,380句	○コミネス事業における専門家との連携（6(1)⑤と同じ。） ○第1回芭蕉白河の関俳句賞 内容：歌枕「白河」を題材とした俳句の募集を通じ、地域の文化的な資源を再認識する機会とするとともに、歴史、史跡を中心とした白河の魅力を全国にPRした。 応募者数：一般405人1,161句、ジュニア（小中学生）2,576人4,169句、計2,981人、5,307句
				コミネス	該当事業なし。	○「白河市民第九演奏会」の内容（6(1)⑥と同じ）	該当事業なし。
		(2) 文化施設を拠点とした事業の創造が支援されたか。	① 専門人材の養成講座の開設やアウトリーチの実施の内容。	コミネス	○コミネス人材育成事業 内容：舞台芸術に関心のある市民層の開拓とコミネス主催事業に主体的に関わる人材の育成を目的に、国内外で活躍する舞台関係者やアートマネジメント人材を講師に迎え、講演会と実技講習形式の講座を実施した。 講座回数：12回、参加者数：のべ314人	○コミネス人材育成事業 内容：舞台芸術に関心のある市民層とコミネス主催事業に主体的に関わる人材の育成を目的に、国内で活躍する演出家・舞台関係者・ホールアドバイザー等の人材を講師に迎え、講演会と実技講習形式の講座を実施した。 制作者養成講座：5回、舞台技術者養成講座：9回 計14回	○コミネス人材育成事業 内容：舞台芸術に関心のある市民層とコミネス主催事業に主体的に関わる人材の育成を目的に、国内で活躍する演出家・舞台関係者・ホールアドバイザー等の人材を講師に迎え、講演会と実技講習形式の講座を実施した。 制作者養成講座：5回、舞台技術者養成講座：14回 計19回
				コミネス	○姉妹都市との交流 月日： ①平成29年4月14日～18日（コンピエーニュ白河協会4名を本市に受入れ） ②平成30年3月12日～14日（コンピエーニュ市出身ジャーナリスト2名を本市に受入れ） 内容：小峰城、南湖公園、白河の関※、酒蔵見学、これまでのコンピエーニュ市派遣事業参加生徒へのインタビュー※、翠楽苑での呈茶披露及びだるま絵付け体験を実施し、白河の歴史・文化を見聞及び体験をした。（※は②事業のみ。） ○友好都市等との交流 内容：友好都市、企業関係者等を対象に本市の伝統行事である「白河提灯まつり」に招待し交流を図った。 参加者数：49人 ○国際交流協会事業 ・プリティッシュ・ヒルズ異文化体験学習 参加者数：市内中学1年生 17人 内容：英会話、テーブルマナー、世界各国の文化の学習等 ・台湾派遣事業 参加者数：市内中学2年生 13人 内容：台南市中学生との交流、文化の学習等	○姉妹都市との交流 ・姉妹都市友好継続確認印式 月日：30年10月12日 内容：姉妹都市提携30周年を迎え、これまでと変わらない友好を継続していくことを確認した。 ・コンピエーニュ市民訪問団受け入れ 月日：30年10月27日～30日 内容：11人の訪問団が本市を訪問し、5組の家庭でホストファミリー形式にて受け入れた。歓迎レセプションにて白河太鼓を訪問団の皆さんと一緒に演舞したほか、南湖公園、小峰城の見学及び、姉妹都市提携のきっかけとなったEAファーマの見学を行った。 ○国際交流協会事業 ・はじめてのフランス語講座の開催。 ・グローバルコミュニティカフェ出張編の開催。 ・中学生国際交流事業「コンピエーニュ市派遣事業」の実施。市内中学2年生14人参加。	○姉妹都市との交流 ・姉妹都市記念式典 月日：元年5月17日～19日 内容：コンピエーニュ市にて姉妹都市提携30周年を記念する式典に本市関係者13人参加。 ○国際交流事業 ・国際交流デーの開催。 ・はじめてのフランス語講座の開催。 ・グローバルコミュニティカフェ出張編の開催。 ○白河市歴史文化アドバイザーの委嘱 月日：31年4月15日（月）、場所：りぶらん 内容：元文化庁長官の近藤誠一氏を委嘱。今後、本市の歴史や文化芸術の発信、更なる振興にお力添えいただく。同日、近藤氏に「文化庁長官としての経験～地域における文化活動～」と題して講演いただいた。 ○大田原市との文化交流協定締結 月日：元年5月24日（金）、場所：白河市役所 内容：文化面を中心とした交流を推進することで、交流人口の増加を図るとともに、両市の文化振興と地域経済の発展に寄与することを目的に締結した。
基本施策	9【交流】 国内外との交流、連携	(1) 国内外の都市間交流の推進が図られたか。	① 姉妹都市・友好都市との文化交流内容。	企画政策課 秘書広報課 文化振興課	○姉妹都市との交流 月日： ①平成29年4月14日～18日（コンピエーニュ白河協会4名を本市に受入れ） ②平成30年3月12日～14日（コンピエーニュ市出身ジャーナリスト2名を本市に受入れ） 内容：小峰城、南湖公園、白河の関※、酒蔵見学、これまでのコンピエーニュ市派遣事業参加生徒へのインタビュー※、翠楽苑での呈茶披露及びだるま絵付け体験を実施し、白河の歴史・文化を見聞及び体験をした。（※は②事業のみ。） ○友好都市等との交流 内容：友好都市、企業関係者等を対象に本市の伝統行事である「白河提灯まつり」に招待し交流を図った。 参加者数：49人 ○国際交流協会事業 ・プリティッシュ・ヒルズ異文化体験学習 参加者数：市内中学1年生 17人 内容：英会話、テーブルマナー、世界各国の文化の学習等 ・台湾派遣事業 参加者数：市内中学2年生 13人 内容：台南市中学生との交流、文化の学習等	○姉妹都市との交流 ・姉妹都市友好継続確認印式 月日：30年10月12日 内容：姉妹都市提携30周年を迎え、これまでと変わらない友好を継続していくことを確認した。 ・コンピエーニュ市民訪問団受け入れ 月日：30年10月27日～30日 内容：11人の訪問団が本市を訪問し、5組の家庭でホストファミリー形式にて受け入れた。歓迎レセプションにて白河太鼓を訪問団の皆さんと一緒に演舞したほか、南湖公園、小峰城の見学及び、姉妹都市提携のきっかけとなったEAファーマの見学を行った。 ○国際交流協会事業 ・はじめてのフランス語講座の開催。 ・グローバルコミュニティカフェ出張編の開催。 ・中学生国際交流事業「コンピエーニュ市派遣事業」の実施。市内中学2年生14人参加。	○姉妹都市との交流 ・姉妹都市記念式典 月日：元年5月17日～19日 内容：コンピエーニュ市にて姉妹都市提携30周年を記念する式典に本市関係者13人参加。 ○国際交流事業 ・国際交流デーの開催。 ・はじめてのフランス語講座の開催。 ・グローバルコミュニティカフェ出張編の開催。 ○白河市歴史文化アドバイザーの委嘱 月日：31年4月15日（月）、場所：りぶらん 内容：元文化庁長官の近藤誠一氏を委嘱。今後、本市の歴史や文化芸術の発信、更なる振興にお力添えいただく。同日、近藤氏に「文化庁長官としての経験～地域における文化活動～」と題して講演いただいた。 ○大田原市との文化交流協定締結 月日：元年5月24日（金）、場所：白河市役所 内容：文化面を中心とした交流を推進することで、交流人口の増加を図るとともに、両市の文化振興と地域経済の発展に寄与することを目的に締結した。
				コミネス	○「beyond2020プログラム」認証事業 件数：1件（スペースオペラKEGON）	○「beyond2020プログラム」認証事業 件数：2件（白河市民第九演奏会、影向のポレロ）	該当事業なし。
				文化振興課	○創造都市ネットワーク日本加盟都市との連携内容 会議に出席し全国の加盟都市と交流を図った。	○創造都市ネットワーク日本加盟都市との連携内容 研修に出席し全国の加盟都市と交流を図った。	○創造都市ネットワーク日本加盟都市との連携内容 ※2年2月5、6日に浜松市で開催される総会に出席予定。
				コミネス	○コミネスにおける文化芸術情報発信手段 ・フェイスブックへの事業紹介投稿 ・ホームページによる事業告知 ・コミネス混声合唱団との連携 ・チケット販売システムとの連動	○コミネスにおける文化芸術情報発信手段 ・フェイスブックへの事業紹介投稿 ・ホームページによる事業告知 ・コミネス混声合唱団との連携 ・チケット販売システムとの連動	○コミネスにおける文化芸術情報発信手段 ・フェイスブックへの事業紹介投稿 ・ホームページによる事業告知 ・コミネス混声合唱団との連携 ・チケット販売システムとの連動

平成30年度及び令和元年度（12月末まで）の主な実績等

	施策名	評価項目	参考指標	担当部署	(参考) 平成29年度の主な実績等	平成30年度の主な実績等	令和元年度（12月末まで）の主な実績等
基本 施策	10【活 用】 文化芸術の 力の活用	(1)文化芸術によ りまちづくりが 図られたか。	①白河いきいき健康マ イレージ事業との連携 内容。	健康増進 課	○文化施設との連携内容 りぶらんにて「スリムアッププロジェクト講演会」を2回開催し、参加者にはい いき健康マイレージポイントを付与した。	○文化施設との連携内容 31年2月24日にコミネスにて、県との共催で「いきいき健康づくりフォーラム」 を開催。健康講話などへの参加者には、白河いきいき健康マイレージポイントを 付与し参加促進を図った。	○文化施設との連携内容 コミネスを「白河いきいき健康マイレージ事業ポイント利用施設」に指定し、 自主事業のチケット代金を適用することで、相互の利用促進を図った。（12月未 までの利用は1件）
			②まちなか文化イベン ト・戊辰の周年事業 ・プロジェクト マッピングの内容。	文化振興 課 観光課 図書館 コミネス	○戊辰の周年事業（2(1)②と同じ。） ○福島プロジェクトマッピングはるか2017 ～白河 花かがり～ 内容：南湖公園を舞台に、ウォータースクリーンの映像やプロジェクト マッピング、森公美子さんや安積黎明高校合唱団等の歌声、その他和太鼓の演奏 等を合わせたイベントを開催した。 実施日：29年4月8日（土） 入込客数：約7,000人 ○まちかど・家庭美術館事業 内容：家庭や商店などの壁面に絵画を飾り美術文化の醸成を図るため、図書館 において複製絵画を収集し、期間を設けて貸し出した。29年度前半は収集を行 い、30年1月から貸出しを開始した。 絵画点数：102点 貸出点数：45点	○戊辰の周年事業（2(1)②と同じ。） ○福島プロジェクトマッピング2018はるか 内容：戊辰戦争150周年を記念し小峰城を舞台に実施し、男性アカペラボーカル グループRAG FAIRによる復興支援ソング「花は咲く」も披露した。 実施日：30年4月7日（土） 入込客数：約5,000人（2回合計） ○まちかど・家庭美術館事業 内容：家庭や商店などの壁面に絵画を飾り文化芸術の醸成を図るため、図書館 において29年度に収集した複製絵画を展示し、貸出しを行った。 絵画点数：102点 貸出点数：231点	○「白河まちなか国際音楽ウィーク2019」 ボローニャ歌劇場弦楽五重奏団や東京音楽コンクール入賞者等による演奏会を 開催し、まちなかの賑わいを創出した。まちなかの施設、店舗等を会場とするこ とで、市民のシビックプライドを湧きあがらせ、愛郷心を育んだ。 ○まちかど・家庭美術館事業 内容：家庭や商店などの壁面に絵画を飾り文化芸術の醸成を図るため、図書館 において29年度に収集した複製絵画を展示し、貸出しを行った。今年度は、りぶ らんに加え地域3館（表郷・大信・東）においても展示や貸出しを行い、全域での サービスの拡充を目指した。 絵画点数：102点 貸出点数：152点
			③障がい者の舞台芸 術・アート展の実施の 今後の方向性。	文化振興 課	該当事業なし。	該当事業なし。	該当事業なし。
		(2)文化芸術によ り心のケアが図 られたか。	①音楽の祭典第3部・ 文化庁補助事業の内 容。	文化振興 課 コミネス	○音楽の祭典第3部（5(1)①と同じ。） ○文化庁補助事業の内容 白河スーパー薪能にて、地元白河市の提灯祭り壮者の協力ののもと、23町の提 灯行列と神輿、子どもたちの御囃子隊が組織され、公演中に観客に披露された。 参加者と観客の心にシビックプライドを湧きあがらせ、愛郷心を育み、自分たち の住んでいる町に対する愛着を強くさせた。	○音楽の祭典第3部（5(1)①と同じ。） ○文化庁補助事業の内容 ・「昭和歌謡コンサート」 オーディションにより編成された12人の声楽アンサンブルが出演。地域の方か ら寄せられた古写真をもとに製作した映像により公演を演出。昭和の時代を彩っ た歌謡曲とともに、白河のまちの記憶をよみがえらせ、愛郷心を育んだ。 ・楽劇「影向のボレロ」 戊辰戦争150周年を記念し、その最大の激戦地である奥州白河の地で地域住民参 加型の新作楽劇を創作・上演。世界的な和太鼓奏者やバレエダンサー、オーケス トラ等のアーティストと地域住民142人が共演した。地域を題材としたことで愛郷 心を育んだだけでなく、先人から受け継がれる仁のこころの大切さを確認した。	○音楽の祭典第3部（5(1)①と同じ。） ○文化庁補助事業の内容 ・白河ジャパネスク能／オペラ「SO-MON」 我が国の古代のイメージを題材として、能とオペラを融合した舞台芸術を創 作・上演。笙・箏といった古楽器にオペラのアリアや合唱、現代楽曲等を加 え、また現代の照明・音響技術に光のアートの要素を取り入れ、オリジナルの舞 台芸術を創造。奈良時代に繰り広げられた相聞歌を軸とし、揺れ動く男女の心模 様を描いたことで、人と人とのつながりを考える契機にもなった。 ・「白河まちなか国際音楽ウィーク2019」 ボローニャ歌劇場弦楽五重奏団や東京音楽コンクール入賞者等による演奏会を 開催し、まちなかの賑わいを創出した。まちなかの施設、店舗等を会場とするこ とで、市民のシビックプライドを湧きあがらせ、愛郷心を育んだ。

	施策名	評価項目	参考指標	担当部署	(参考) 平成29年度の主な実績等	平成30年度の主な実績等	令和元年度（12月末まで）の主な実績等
重点 施策	1 文化芸術に親しんでいる市民への支援の充実	文化芸術活動を行っている個人や団体への支援の充実が図られたか。	①文化施設自主事業・音楽の祭典第2部の内容。	文化振興課 コミネス	○コミネス自主事業の内容 ・コミネス混声合唱団を対象とした活動支援（41回の音楽指導者の派遣、施設の無償貸与） ・演劇系表現活動団体を対象とした上演活動費用に対する補助（3回公演時の設備使用料、技術者派遣料等の支援） ○音楽の祭典第2部（5(1)①と同じ。）	○コミネス自主事業の内容 ・コミネス混声合唱団を対象とした活動支援（50回の音楽指導者の派遣、施設の無償貸与） ・演劇系表現活動団体を対象とした上演活動費用に対する補助（3回公演時の設備使用料、技術者派遣料等の支援） ○音楽の祭典第2部（5(1)①と同じ。）	○コミネス自主事業の内容 ・コミネス混声合唱団を対象とした活動支援（40回の音楽指導者の派遣、施設の無償貸与） ・演劇系表現活動団体を対象とした上演活動費用に対する補助（3回公演時の設備使用料、技術者派遣料等の支援）。
			②音楽の祭典・東音楽フェスティバル・市民芸術大会・美術展覧会の内容。	文化振興課	○音楽の祭典（5(1)①と同じ。） ○市民芸術大会（5(1)①と同じ。） ○美術展覧会（5(1)①と同じ。） ○東音楽フェスティバル 施設改修のため実施しなかった。	○音楽の祭典（5(1)①と同じ。） ○市民芸術大会（5(1)①と同じ。） ○美術展覧会（5(1)①と同じ。） ○東音楽フェスティバル 月日：31年2月3日（日）、場所：東文化センター、出演団体数：6団体	○音楽の祭典（5(1)①と同じ。） ○市民芸術大会（5(1)①と同じ。） ○美術展覧会（5(1)①と同じ。） ○東音楽フェスティバル ※2年2月2日（日）に開催予定。
			③鑑賞の仕方・態度を学ぶ事業の今後の方向性。	文化振興課	該当事業なし。	該当事業なし。	※2年2月2日（日）開催の音楽の祭典第2部で、来場者に「知っとくマナー」（鑑賞マナー周知チラシ）を配布予定。
	2 文化芸術による新たなライフスタイルの創出	ライフスタイルに文化芸術を取り入れることができるよう、文化芸術活動への興味・関心の喚起が図られたか。	①音楽の祭典・東音楽フェスティバル・わーくわくキッズカルチャースクールの内容。	文化振興課	○音楽の祭典（5(1)①と同じ。） ○東音楽フェスティバル（重点1②と同じ。） ○わーくわくキッズカルチャースクール（7(2)4と同じ。）	○音楽の祭典（5(1)①と同じ。） ○東音楽フェスティバル（重点1②と同じ。） ○わーくわくキッズカルチャースクール（7(2)4と同じ。）	○音楽の祭典（5(1)①と同じ。） ○東音楽フェスティバル（重点1②と同じ。） ○わーくわくキッズカルチャースクール（7(2)4と同じ。） ○NHKのど自慢公開生放送 月日：31年4月7日（日）、場所：コミネス 内容：歴史ある国民的番組を本市で開催し、多くの方々がコミネスで歌に触れ、放送により本市をPRすることができた。6,000通を超える観覧申込み、646通の出場申込みがあった。 ○白河市文化芸術講演会 月日：31年4月15日（月）、場所：りぶらん 内容：元文化庁長官の近藤誠一氏を講師に招き「文化庁長官としての経験～地域における文化活動～」と題して講演いただいた。その後、白河市歴史文化アドバイザーに委嘱。今後、本市の歴史や文化芸術の発信、更なる振興にお力添えいただく。
			②まちなか音楽祭の実施の今後の方向性。	コミネス	該当事業なし。	○「FUKUSHIMA TAP PROJECT～白河～」 場所：白河駅前広場 内容：白河商工会議所青年部主催事業「しらかわ魂」において、タップダンサー中山貴踏氏を代表とする8名が、タップを披露してまちなかの賑わいを創出した。	○「白河まちなか国際音楽ウィーク2019」 場所：コミネス、りぶらん、旧脇本陣倉庫敷柳家旅館、茶房瑠、藤屋蔵、玄豆屋レコード美術館 内容：ポーロニャ歌劇場弦楽五重奏団や東京音楽コンクール入賞者等による演奏会を開催し、まちなかの賑わいを創出した。
	3 本市オリジナルな活動団体の組織	市民主役の活動団体を組織し、活動の場が創出されたか。	①市民オーケストラの設立の今後の方向性。	文化振興課	該当事業なし。	該当事業なし。	○白河市民オーケストラ設立準備事業 関係者による打合せや視察研修を行った。3年度の設立に向けて、2年度にはブレオケを組織し、音楽の祭典第1部で演奏することを目標に活動する予定。
			②市民による第九コンサートの内容。	文化振興課	該当事業なし。	○「白河市民第九演奏会」の内容（6(1)⑥と同じ）	該当事業なし。
			③白河文化芸術アカデミー（仮称）の設立の今後の方向性。	文化振興課	該当事業なし。	該当事業なし。	該当事業なし。
	4 文化芸術を活用したまちづくり	文化芸術を鑑賞・体験・創造することのできる機会が創出されたか。	①まちなかアートフェスティバル・空き店舗や寺院を活用した事業の実施の今後の方向性。	文化振興課 まちづくり推進課 コミネス	○街なか定期座禅会 内容：中心市街地活性化基本計画区域に多くある寺院で、座禅や写経、法話などを体験した。 回数：4回 場所：大統寺、聯芳寺、長壽院、萬持寺 参加者数：のべ74人	○街なか定期座禅会 内容：座禅作法の説明及び座禅、読経、法話 開催日、会場、参加数、座禅以外の内容： 30年5月26日（土）大統寺（馬町下）14人、写経 30年7月7日（土）聯芳寺（向寺）23人、座談会 30年9月9日（日）長壽院（本町）24人、写経 30年11月10日（土）萬持寺（巡り矢）13人、座談会 ○白河市小グループまちなか活動支援事業 本町シアタールームプロジェクト「小さな週末映画祭2018-19」として、EMANONと旧脇本陣柳屋旅館蔵敷で映画鑑賞会を開催した。 入場券：中心市街地活性化基本計画区域内の店舗で購入した1,000円以上のレシート 来場者数：83人	○「白河まちなか国際音楽ウィーク2019」（重点4①と同じ。） ○街なか定期座禅会 内容：座禅作法の説明及び座禅、読経、法話 開催日、会場、参加数、座禅以外の内容： 元年5月18日（土）龍興寺（向新蔵）8人、座談会 元年6月29日（土）月心院（金屋町）11人、写経 元年9月7日（土）聯芳寺（向寺）7人、写経 元年11月30日（土）関川寺（愛宕町）9人、座談会